

おしえて！ドクター

治療の自己中断

新型コロナウイルス感染症の流行拡大は減速の兆しも見えてきましたが、医療関係者の間では、糖尿病や高血圧など慢性疾患のある方の受診控えが懸念されています。コロナ禍では、慢性疾患のある方がコロナウイルスに感染すると重症化してしまうとの理由で病院への受診が減りました。その後コロナ感染も落ち着いてきましたが、今度は仕事が忙しく通院にかかる時間がない、医療費の経済的な負担、体調が安定しているからなどの理由で治療を中断してしまうケースが増えています。今回は、慢性疾患の中でも特に糖尿病・高血圧・気管支喘息の中断理由などお伝えします。

糖尿病



糖尿病はほとんどの場合、一度診断されると長い期間、医療機関へ通院する必要があると言われています。

- ◆年齢がまだ若い
 - ◆HbA1c 値が低いこと
 - ◆薬剤が処方されていないこと
 - ◆過去にはっきりと糖尿病と診断されたことがないこと
- などが中断理由となっています。



しかし、2型糖尿病の多くは自覚がないため継続的な治療への意欲を失う患者が多く通院を中断し、重症の合併症が起こってから再度受診する場合があります。

高血圧

なぜ降圧剤を自己判断で中止するのか。

- ◆ふらつきがあり血圧が低いと思いこみ薬を飲むのを止めた
- ◆毎日血圧を測っていて、今日は血圧が低いので止めた
- ◆血圧の薬の数が多くて不安なので減らした
- ◆複数種類の降圧薬が出ているので、医療費を節約するため



などの理由で薬を自己調節される方がいます。しかし、薬によって作用する効果や時間が異なります。最近では2種類の降圧薬を1錠とした合剤が使用されていることが多く、この場合服用を止めると血圧の変動幅がかなり大きくなります。薬を勝手に自己調節することは血圧の急激な変化にもつながり、脳卒中などの原因となります。急に服用を止めたり追加しても血圧はすぐに変動しません。

薬の事で疑問や不安に思った時は医師・薬剤師に相談しましょう。

気管支喘息

喘息治療の難しいところは自覚症状がなければ落ち着いている、もしくは治ったとは判断してしまうところです。

- ◆発作が出て吸入薬がまだあるから大丈夫
- ◆発作が出なく落ち着いているから大丈夫
- ◆吸入薬が無くなったら受診すればよい



などの理由で定期的な受診離れが増えています。喘息の症状や発作がなくても、気道が炎症を起こしていることはよくあります。この状態が継続すれば、喘息発作や喘息死の危険性が増えてしまいます。大人の喘息には、子供の時に発症した小児喘息から続く場合と、大人になってからはじめて喘息になる場合があります。大人の喘息は子供と比べると治りにくく、重症化しやすい特徴があります。症状がない場合や薬物治療が不要になった場合でも、発作予防のための治療や定期的な受診が必要です。



患者さんへのメッセージ

さまざまな理由で治療を自己中断してしまうことはあると思いますが、治療せず悪化してから受診をすると、検査・治療にかかる時間も費用も増えてしまいます。定期的に受診をしていれば、ちょっとした変化にも早期に気づくことができ、重症化を防ぐことができます。しばらく受診していなかった方は、この機会に再受診し、現状の確認と今後の治療について主治医に相談してみてもいいかもしれません。

日頃からの対策

- 「最近、変な電話掛かってきてませんか？」など「特殊詐欺」を話題にして、近所の人と情報交換をしましょう。
- 迷惑電話防止機能を有する電話機(機器)の設置が、被害防止に大変有効です。**
- 特に必要がなければ、電話帳への記載を取り消してもらいましょう。
- 家族や親族の間で、連絡先を確認しておくほか、あらかじめお互いを確認するための合い言葉を決めておきましょう。
- 留守番電話にして、相手が確認できてから電話に出るようにしましょう。**
- 相談相手(家族、親せき、信頼できる友人など)をあらかじめ決めておきましょう。最寄りの警察署の電話番号を調べておきましょう。



1. 電話でお金の話、それは詐欺です。
 2. 警察や銀行協会の職員などが、キャッシュカードを預かったり、暗証番号を聞いたりすることは、絶対にありません。
 3. 警察官等が訪問して、キャッシュカードなどを封筒詰めして保管するよう促すことは、絶対にありません。
 4. ATMで還付金などを受け取ることは、絶対にできません。
 5. 正規の貸金業者が、いかなる名目であっても融資を前提に現金を振り込ませることは絶対にありません。
- (神奈川県ホームページ、特殊詐欺対策より)

覚えておきましょう！

赤字の医師は女性です。

外来担当表

2023年(令和5年)12月1日現在

	内科		漢方	精神科	
	9:00～11:30	2:00～4:00		9:00～11:30	2:00～3:30
月	岡田(呼吸器) 佐伯(消化器)	三澤(消化器)	熊手 9:00～11:30	中野(予約のみ) 大森 三井	中村 三井
火	戸川(糖尿病・内分泌) 中田(佳) 石井	坂井(神経内科) 佐野(予約のみ)		中野(予約のみ) 中村 一條	中村(物忘れ外来)予約制
水	吉武(循環器) 岡田(呼吸器) 熊手	勝尾(消化器)		大滝(予約のみ) 大森 栗山(1・3週) 伊藤	古賀(予約のみ) 福田
木	戸川(糖尿病・内分泌) 大谷(消化器) 日比野(血液)	加藤(真)(胆・脾) 横溝	中田(佳) 2:00～4:00	古賀(予約のみ) 高橋 加藤	中村 加藤
金	吉武(循環器) 戸川(糖尿病・内分泌) 吉見(膠原病)	佐野(予約のみ) 土谷(消化器)		大滝(予約のみ) 中村 古賀(予約のみ)	中村(物忘れ外来)予約制 加藤
土	斉藤(肝臓)(受付～11:00) 岩城(消化器) ※戸川(1・3・5週) ※和田(消化器)(2・4週)		中田(佳) 予約のみ(1・3週) 9:00～11:00	大森 栗山	

精神科：初診申込は予約制 予約受付時間 火～金曜日 15:30～16:30

	整形外科		外科	皮膚科	泌尿器科	耳鼻咽喉科		脳神経外科
	9:00～11:30	2:00～4:00	9:00～11:30			9:00～11:30	2:00～4:00	9:00～11:00
月	新井・友近 9:00～11:00	(手術の無い場合は診療)	平野	川瀬 9:00～10:30	鈴木(博) 1:00～3:00	大平	交代制	
火	内藤・藤谷	藤谷 12/12休診	神谷			松永	高津	
水	新井 9:00～11:00	新井 12/6休診				金海	大平	
木	新井・葛西 9:00～11:00	12/14 藤谷 ※他は手術のため休診	小野寺 (1・2・3・5週) 橋本(4週)	山岸 (予約制) 9:00～11:30	鈴木(博) 1:00～3:00	高柳 9:00～11:00	光吉(2・4週) ※交代制 (1・3・5週)	
金	新井・寺内 9:00～11:00	12/1,22 寺内 ※他は手術のため休診	小野寺		鈴木(博) 1:00～3:00	福生	大原	
土	新井 (予約のみ) 1・3・5週		小野寺(2・4週) 平野(1・3・5週)			高柳		浅田 (予約のみ) 1・3・5週

整形外科：12/1,22(金)は新井医師休診。午後の診察を希望される場合は、お電話でご確認ください。

	眼科		歯科		放射線科
	9:00～11:30	2:00～4:00	9:00～11:30	2:00～4:00	(読影)
月			鍵和田 予約制	鍵和田 予約制	鈴木
火	交代制	交代制			
水			鍵和田 予約制	鍵和田 予約制	関谷
木	山下 再診予約		今井 予約制	今井 予約制	
金			鍵和田 予約制	鍵和田 予約制	中田
土	交代制 1・2・4・5週 (3週は休診)		今井 予約制		



編集 湘南福祉協会
経営企画室 経営企画課
追浜地域包括支援センター
横須賀市鷹取1-1-1
TEL 046-865-4105
FAX 046-866-4584
E-mail : shonan@cc.mbn.or.jp



湘南病院ホームページ QRコード
URL: <http://www.shonanhp.or.jp>



待ちあい室

12月号 no.315

報告

第2回 包括的ケア会議 開催

令和5年11月17日(金) 13:30-15:30 追浜行政センター4階ホール



なぜ今助け合いか？

市区町村は、自分たちの手でふさわしい制度を創り上げる役割が出てきた。新しい地域づくりの始まり。

地域包括ケアシステムとは？

専門性が必要な介護はしっかりと専門職・事業者が支え、日常の生活支援は、出来るだけ住民やボランティアの主体的な互助活動で支えていこうというもの。

追浜エリアの高齢者の困りごと

- ・一人暮らし、認知症でゴミ出しが上手くできない
- ・家が高台でゴミ出しが大変になってきた
- ・高齢になり庭仕事(草取り)が困難
- ・高齢になり車も免許も返納
→通院や買い物の足がない
- ・高齢になり毎食の調理が大変
- ・関節痛などで掃除、整理整頓が大変 等々

～参加者の感想～

- ・高齢化がすすむにあたり「何かしなければ・・・」という気付きと行動が大切だと思いました。繋がりが今後の高齢化のケアに必要だと思いました。
- ・東京から移住し地域の事も近隣の方とも顔見知りになる機会もなく不安を感じていました。今はボランティアの活動をさせて頂き、友人知人が出来てとても楽しく過ごしている。

募集中(無料)

認知症サポーター養成講座

- ★日時 2024年2月15日(木) 14時～16時
- ★会場 サンロード追浜商店街 (セブンイレブン事務所)
- ★内容 ①認知症って何？
②認知症の方へ接し方
③認知症サポーターが出来る人
- ★対象 認知症と言う病気に関心のある人どなたでも
- ★定員 30名
- ★申し込み 追浜地域包括支援センター 連絡先:865-5450 大室・吉田

～追浜地域包括支援センター便り～

今年は秋が短く、早くも寒さが身に染みる今日この頃です。
インフルエンザも流行の兆しです。新型コロナともども感染予防に努めましょう。



令和5年11月17日に今年度第2回の包括的ケア会議を開催致しました。50名近い参加者があり、人生100年時代に向けていつまでも住み慣れた地域で過ごすためにはどんな支援や資源があれば良いか？ 活発な意見交換を行う事が出来ました。

2025年問題も直ぐそこに来ています。地域包括ケアシステムの構築に向けて包括として頑張っていきたいと思っています。